

資料紹介

若松美黄の舞踊作品・著述文献目録

唐沢 優江

(東京女子体育大学非常勤講師)

舞踊家若松美黄（1934-2012）は、北海道大学法経学部法学科を卒業後、1957年斬新な作風で舞踊家としてデビューし、高度な舞踊技術とスタイルの良さ、また前衛的作風などが注目された。1960年代は前衛的傾向が問題となり、劇場での作品発表が困難となる中、東宝劇場と専属契約（1961-1964）を結び、一転して大衆芸能の世界でも活動の場を広げた。その後も、若松美黄・津田郁子自由ダンス公演として作品を発表し続け、4度の文化庁芸術祭賞を受賞する。筑波大学就任後は、舞踊家のみならず、舞踊研究者、舞踊教育者としても多くの功績を残してきており、文化経済学会の立ち上げに加わり理事を務め、環アジア世界舞踊連盟会長、舞踊学会会長を務めるなど、多様な面において、日本の舞踊界をリードしてきた人物である。

若松美黄の略歴や、若松の振付、構成、演出による舞踊作品の目録、及び、舞踊に関わる研究やコラムなど、若松による著述文献の目録は次の通りである。

表1 若松美黄略歴

1934	北海道札幌市に生まれる	1984	舞踊学会理事
1953	北海道大学法経学部法学科入学	1985	筑波大学体育科学系教授
1955	沙原聖子に師事 「最後の一葉」で初舞台	1986	お茶の水女子大学教育学部 表現体育科非常勤講師
1956	津田信敏に師事	1992-	文化経済学会理事
1957	同学科卒業 津田近代舞踊団所属 第3回新人公演「カタロシス」 若松美黄現代舞踊公演「バザバ」「雲を踏む」 「ツララ考」「三人女」「時間の終末」他 舞踊コンクール「バザバ」「反逆児」にて準 入賞 三島由紀夫による声かけにより、650エクス ペリエンスの会 6人のアバンギャルド公演に 土方巽、黛敏郎、ドナルド・リチイらと共に 作品を発表「アガベの死臭」 舞踊コンクール「水泡に壁にける水魚」（第 1位）「気ままな気質たち」（準入賞）「病ん だナルキソス」（準入賞）	1992.8	日本アジア・ダンス・イベント（JADE '93） ディレクター
1961-	菊田一夫オーデションにより東宝演劇部と	1995	環アジア世界舞踊連盟副会長（World Dance Alliance Asia Pacific/ Vice President）
1963	専属契約。初期のミュージカル、歌舞伎など に木村百合子と共演。テレビのショーなどの 振付も行う。	1996-	東京女子体育大学 体育学部舞踊科非常勤講 師
1967	若松美黄・津田郁子自由ダンスカンパニー設 立	1996-	社団法人 現代舞踊協会常務理事
1971	文化庁芸術祭優秀賞舞踊部門受賞「ふり」	1997-	沖縄県立沖縄芸術大学芸術学部非常勤講師
1973	在外研修員として、ヨーロッパ、アメリカへ 行く Miki Wakamatsu Dance Performance "Five Interpretations of Love" ニューヨーク Riverside Ch. Theaterにて発表	1997-	環アジア世界舞踊連盟会長（World Dance Alliance Asia Pacific/ President）、中央民族 大学（北京）客員教授
1976	文化庁芸術祭優秀賞舞踊部門受賞「村へ帰る」 舞踊批評家協会賞 第一席「村へ帰る」	1998	筑波大学退官、日本女子体育大学教授 新国立劇場ダンス・テアトロNo. 1 「礼儀 正しい隠蔽」
1978	筑波大学体育科学系に助教授として赴任	1999	紫綬褒章受章
1979	文化庁芸術祭優秀賞舞踊部門受賞「暗黒から 光りへ」	2000	日蘭ダンスコラボレーションGalili Dance+銀鼓 （SilverBeat）東京公演、オランダ公演出演
1981	文化庁芸術祭優秀賞舞踊部門受賞「ジーキル 博士とハイド氏の寓話」	2001	日韓国際舞踊シンポジウム特別公演 振付・ 出演
		2002	JADE国際舞踏サミット実行委員長、司会パ ネラー
		2002-	舞踊学会会長
		2006	
		2006	第16回財団法人松山バレエ団顕彰教育賞受賞
		2008	東京新聞舞踊芸術賞受賞、江口隆哉賞受賞「舞 へまへ蝸牛」 国民文化祭いばらき2008洋舞フェスティバル モダン合同作品「プロクナ仲間」振付・出演
		2010	平成22年旭日章授章
		2012	埼玉県にて卒去（享年78） 従四位叙勲

表2-1 1957~1968年若松美黄舞踊公演及び発表作品

公演年月日	舞踊公演	会場
1957.12.2	第3回新人公演「カタロシス」	日本青年館ホール
1958.4.12-13	舞踊コンクール「バザバ」「反逆児」準入賞	日比谷公会堂
1958.5.5	若松美黄ABC グループ反旗	砂防会館
1958.5.18	第4回新人舞踊公演「自虐黙々さんのたわごと」	第一生命ホール
1958.7.13	夏の舞踊祭「太陽の断続」	日比谷公会堂
1958.8.4.6	若松美黄現代舞踊公演「バザバ」「雲を踏む」「ツララ考」「三人女」「時間の終末」他	札幌自治会館/小樽日活
1958.11.1	第5回新人公演「残狂」	砂防会館
1959.9.5	6人のアバンギャルド 作品「アガベの死臭」	第一生命ホール
1959.4.	舞踊コンクール「失われたメルレリオン」(第3位)「死魚の淫」(準入賞)	日比谷公会堂
1959.5.24	第6回新人公演「状況」	第一生命ホール
1960.7.11	第一回若松美黄の近作 ミキ・ダンス・ド・サロン「気ままな気質」「振り返ったオルフェウス」「オフィリアの恋文」「陽気な石積み」「聖なる羊」「状況そして状況」ほか	銀座ガスホール
1960.4.16-17	舞踊コンクール「水泡に壁にける氷魚」(第1位)「気ままな気質たち」(準入賞)「病んだナルキソス」(準入賞)	日比谷公会堂
1961.1.28	第二回若松美黄の近作「水・カサノバと緋鯉と黒人女」「水」「灼」「状況3」ほか	草月ホール
1961.4.	舞踊コンクール「私達は冷たい星で」「金なし恋なし今日は青空」	日比谷公会堂
1961.11.3	舞踊集団東京「変身」	東横ホール
1962.6.3	津田郁子近代舞踊研究所「不思議の国のアリス」	大宮商工会館
1962.7.24-25	若松美黄・木村百合子・高橋悠治によるジャズとの試み「モノローグ」「三つの小品」「自由への祈り」「ウイ・インシスト」	草月ホール
1963.3.5	集団東京「ドン・キホーテもハムレットも」	都市センターホール
1964.2.29	厚木凡人リサイタル「鼻糞の勝利」「年上の女」	都市センターホール
1964.9.25	新鋭公演「オフィーリアとジュリエット 私の女友達」	朝日講堂
1964.11.19	日米合同公演「マースカニングガムの若手と日本の舞踊家」-「集合」	草月ホール
1964.11.26-29	若松美黄舞踊公演「観念の絵画」「さなぎ」「理由なき挫折」他	小樽市民会館/札幌道新ホール
1965.10.2	「兵士の物語」	芸大演奏堂
1966.2.15	若松美黄の近作「兵士の物語」「墓」「虚構」「集合」「状況4」他	イノホール
1966.6.3	ダンス・イグジビション1「帆走する都会」「贖罪の羊を求めて」	都市センターホール
1966.6.5	津田郁子・若松美黄舞踊研究所公演「心象の冬」	埼玉会館
1966.10.17	ステイファノフ木内オペラ劇場「陰人間R君の告白」(芸術祭奨励賞大衆芸能部門受賞)	都市センターホール
1967.1.24	創作舞踊公演「予感」	虎ノ門ホール
1967.5.11	ダンス・イグジビション2「礼儀正しく生きること」	都市センターホール
1967.5.21	津田郁子・若松美黄舞踊研究所「室内オーケストラのための交響曲ミヨール」	埼玉会館
1967.10.29	NHK教育テレビ 芸術劇場「育児のしおり＝正しい離乳」	NHK TV
1967.10.30	NHK教育テレビ「新しいパレエ」	NHK TV
1968.2.28	ダンス・イグジビション3「大臣」「最初に稲妻そして雨を降らす雲」	都市センターホール
1968.3.4	富田照子・倉田道代・芝木厚子のダンスアバンギャルド「マクルーハンと業隠武士」	厚生年金小ホール

表2-2 1968年~若松美黄・津田郁子自由ダンス公演

公演年月日	舞踊公演	会場
1968.9.24	<ロマンスと漫画による楽天的反抗>「ええじゃないか」「清姫の子守歌」「親切」「羅生門」他	都市センターホール
1969.10.30	「回復路線」	日本青年館ホール
1970.10.26-27	「繁栄」	朝日生命ホール
1971.10.28-29	「ふり」芸術文化祭優秀賞受賞	朝日生命ホール
1972.10.30	「またたく星(抒情日本)」	朝日生命ホール
1973.10.23	「英雄ぬきの氾濫」	虎ノ門ホール
1974.10.3-5	Five Interpretation of Love New York	リバーサイドチャーチシアター
1975.11.6	「エセーニン考」	虎ノ門ホール
1976.11.8	「村へ帰る」芸術文化祭優秀賞受賞	読売ホール
1977.11.7	「夜明け」	読売ホール
1978.11.10	「わがうちなるシルフィード」	読売ホール
1979.11.8	「暗黒から光へ」芸術文化祭優秀賞受賞	読売ホール
1980.11.12	「フランケンシュタインの寓話」	読売ホール
1981.11.12	「ジーキル博士とハイド氏の寓話」芸術文化祭優秀賞受賞	読売ホール
1982.11.12	「恋の至極は忍ぶ恋-シラス・ド・ベルジュラックより-」	読売ホール
1983.12.20-21	文化庁助成現代舞踊公演「ドラキュラあそび」	読売ホール
1984.11.13	「囚われの世界-カリガリ博士の解釈-」	読売ホール
1985.11.21-22	「知恵の実」	読売ホール
1986.10.29	「希望」	読売ホール
1987.10.20	「夢-奢りの後-」	読売ホール
1988.10.26	「嘘の優しさ」	読売ホール
1989.11.13-14	文化庁助成現代舞踊公演「タビネズミの行進」	メルバクルホール
1990.11.8	「パンチを演じる」	メルバクルホール
1991.11.20	「裸の王様」	メルバクルホール
1992.12.18	「無用者のおん祭り」	メルバクルホール
1993.11.9	「透明なかたち」	読売ホール
1993.11.24	「リア王」	メルバクルホール
1994.11.4	「ロボット」	メルバクルホール
1995.11.7	「マクベス夫人」	メルバクルホール
1996.11.8	「さまよえるオランダ人」	メルバクルホール
1997.11.10	「大地-光ほのかに-」	メルバクルホール
1999.1.23	「寄席」	読売ホール
1999.12.25	「怪物メドウサを討て」	埼玉芸術劇場小ホール
2001.1.13	「犠牲にする」	埼玉芸術劇場小ホール
2001.11.22	「センサー」	埼玉芸術劇場大ホール
2002.11.26-27	「軸ナシ日」	埼玉芸術劇場小ホール
2003.11.12-13	「たま」	埼玉芸術劇場小ホール
2004.11.26	「無芸至芸」	埼玉芸術劇場大ホール
2005.11.30	「朝・だダンス」	埼玉芸術劇場大ホール
2006.11.8	「喜劇・地獄草子」	埼玉芸術劇場大ホール
2007.11.29	「舞へまへ蝸牛」	埼玉芸術劇場大ホール
2008.2.19	「乙女の姿しばしとどめむ」	埼玉芸術劇場大ホール
2009.8.8-9	「笑いの箱」	日暮里d倉庫

表3 若松美黄著述文献一覧

<著書>

著書名	発行所	発行年
ダンス 危機反応としてのダンス	ぎょうせい出版 朝倉書店, 松浦義 行編. スポーツの 科学 p.143-158	1984 1986
スポーツと生理 図解体育 East Meets West	大原出版 Harwood Academy Publishers	1983 1995
<啓蒙書, 雑誌, その他>		
自由ダンスについて	若松美黄の近作 プログラム	1966
自由ダンスをPRする	モダンダンス研究 と評論 1:11	1967
自由ダンスをPRする	モダンダンス研究 と評論 2:26-27	1968
自由ダンスをPRする-まじめで 堂々とした芸術舞踊-	モダンダンス研究 と評論 3:28-29	1968
自由ダンスをPRする-流れ者-	モダンダンス研究 と評論 4:24-25	1969
軽薄な舞踊	モダンダンス研究 と評論 7:29-32	1970
あれやこれや	モダンダンス研究 と評論13:30-31	1974
舞踊ノート 私の舞踊創作過程 「ふり」について	女子体育14(8):46- 53	1972
動きの世界(1)「嘆き」の デザイン130のポーズからで きあがった4分30秒の作品	女子体育19(10):42- 44	1977
世界の中のモダン・ダンス現代 の状況にたって	心30(2):26-46	1977
動きの世界(2)一つの動きを 違った意味に	女子体育19(11):36- 38	1977
動きの世界(3)結果はわから ない	女子体育19(12):46- 49	1977
動きでさぐる舞踊の歴史(10) イサドラ・ダンカンの技法	女子体育20(5):48- 55	1978
ニューヨーク・ナウ・ヌレエフ とパリシニコフ-	女子体育21(9):63- 64	1979
全人的なものへ 舞踊 舞踊と身体	肉体言語10:82-88 体育科教育28(13): 40-41	1980 1980
みんな一緒 バレエもモダン ダンスもショーも	さいたま舞芸4バ レエのための教養 講座 5:22-23	1982
ストレスを調整するダンス	トリムライフ50:18- 22	1983
LET'S DANCE	トリムライフ6:20- 23	1983
楽しいダンスの指導	女子体育25(6): 42-45	1983
ダンス作品の演出・振付による 受賞 “ジーキル博士とハイド氏 の寓話”	筑波フォーラム 22:121-125	1984
ダンスが示す時代相	PRニュース215	1984
舞踊と音楽	女子体育27(7):2-6	1985
スポーツトレーニングを考える	クラブライフ62:1- 12	1985
ダンス・フォアオール時代の ダンス教育	体育科教育37(10): 30-32	1986
音楽を使ったトレーニング	トリムリーダー養 成講座サブ・テキ ストp.89-99	1986
男ダンサーの目立つ時代	音楽の世界26(7): 3-5	1987
個に応じるコーチ論-ダンス-	女子体育31(6):60- 63	1989
生涯学習時代のダンス学習	体育科教育37(10): 30-32	1989
身体芸術表現	90年代のレジャー マインドp.7-10	1990
バレエ, モダンダンスにおける 腰	悲劇喜劇 4:32-35	1991
生命の創造活動としてのダンス	体育科教育45(12): 36	1992

感動を伝える	筑波フォーラム 39:117-121	1994
ダンス教育のこれからの展望	体育科教育43(7): 22-24	1995
老いを創作する	女子体育37(10):18- 21	1995
何が表現運動・ダンスの指導 を苦手になっているのか	学校体育49(10):10- 13	1996
バレエのなかの女性と男性の 世界	女子体育40(12):4-7	1998
体育・スポーツの原点を考える -パフォーマンスアーツを踏ま えて-	いばらき健康・ スポーツ科学 15:3:74-77	1997
美しく舞うコツ	体育の科学49(11): 901-905	1999
時の流れ	芸能実演家協議会 「芸能白書」舞踊部 門	2002
ダンス文化を支援するわけ プロとアマ	女子体育44(2):4-7 日本女子体育大学 80周年記念シンポ ジウム抄録	2002 2002
ダンスを語るべき時 ひと〜ロゴスでなくホロスから	公明新聞 武州路353:38-39 (イ ンタビュー)	2002 2003
21世紀の舞踊教育	日韓舞踊教育シン ポジウム記念論文 集78-86, 日本女子 体育大学舞踊研究 会 1, 若松美黄・ 成澤幸恵	2003
コンテンポラリーダンスの源	ダンスマガジン 2003年8月号 若 松美黄・三浦雅士 対談	2003
こわばり社会をダンスで解く 舞踊家のTransition (引退後の生活)について	公明新聞寄稿 幕あいラウンジ http://www. kk-video.co.jp/ comments/ wakamatu- makuai/ wakamatu-m01. html	2003 2003
舞踊技法への反発	幕あいラウンジ http://www. kk-video.co.jp/ comments/ wakamatu- makuai/ wakamatu-m02. html	2003
呪術とアニミズム	幕あいラウンジ http://www. kk-video.co.jp/ comments/ wakamatu- makuai/ wakamatu-m03. html	2004
日本人舞踊専攻生と韓国舞踊 専攻生の身体視比較	幕あいラウンジ http://www. kk-video.co.jp/ comments/ wakamatu- makuai/ wakamatu-m04. html	2004
特集「身体を極める」	Paseoフラメンコ 2008(7)	2008
ダンサーのための舞踏的身体論	Paseoフラメンコ 2008 12ヶ月連載	2009
なぜ人は踊るのか〜舞踊表現 の根源を求めて〜	Paseoフラメンコ 2009(10)	2009

< 学術論文 (国際) >

The Dance Education for the Youth-in Japan	Asian Dance Association Korea Committee Proceedings1	1986
Modern Situation and the Trait of Japanese Dancers	The 5th Hong Kong International Dance Conference vol.2 p.306-319	1991
Traits of Private Dance School in Japan	Ministry of Culture, Arts and Tourism: topic6	1995
Problem in Creating Dance in Asia	Ministry of Culture, Arts and Tourism: topic4	1995
Modern Society and Change of Dance	Korean Alliance for Recreation and Dance	1995
International Reports on Dance Education	Impulse 1996-4 "Dance Education" p. 187-189	1996
The Modernization of Asia dance and The Modern Korea Dance. Baku Ishii as a Starting Point	東洋演劇学会 1 (ソウル)	2001
Contemporary Dance in reflection of Social Phenomena: The Korean Society of Dance	The Trend of Modern Dance in Japan 21st Century	2005
A Study of Non-Fixed Routine in Repeat Performance, Appearance of Local Folk Dance after Theater Transplanting-Looking for A new form of preservation-	10th International Dance Conference-Festival: The Harmony of Tradition and Modern Dance III pp 41-56. Seoul Gvo Yook Mun Hwa Hoe Gwan. The Korean Dance.	2006

< 学術論文 (国内) >

ダンスと円-ダンスにおける呪術的特性-	筑波大学体育科学系 紀要 7:63-73	1984
ダンスにおける出の研究 -舞台両袖の比較-	筑波大学運動学研究 1:111-120	1984
上手・下手の空間概念の研究 -ヘシオドスと古事記・日本書紀の比較に基づく-	筑波大学体育科学系 紀要 8:115-124	1985
現代ジャズダンスの研究 -ダンスの新分野として-	筑波大学大学体育 研究 7:91-101	1985
美的姿態の研究-新しいダンス 創作のための画像分析-	筑波大学体育科学系 紀要 9:79-90	1986
ダンスにおける出と姿態の研究	筑波大学運動学研究 3:1-10	1986
文化表象としての男性像・女性像	筑波大学比較文化 研究 2:1-12	1987
日本人の身体運動から見た空間概念	筑波大学比較文化 研究 4:47-67	1987
日本の姿態類型の研究 ~画像分析による~	筑波大学体育科学系 紀要13:11	1990
現代日本は舞踊の時代か~統計による舞踊家と舞踊公演~	筑波大学運動学研究 9:25-36	1993
舞踊コンクール採点集計法の研究	筑波大学体育科学系 紀要19:147-158	1996
舞踊における身体観 -分子集合としての身体-	体育原理研究 27:137-140	1996
東アジアにおける現代の舞踊の諸問題	筑波大学体育科学系 紀要21:99-108	1998
21世紀の舞踊教育	日韓舞踊教育シンポジウム 記念2002年 論文集:78-86	2003
舞踊家調査の整合性とそのキャリア形成調査について-舞踊専攻学生を対象とした意識調査-	平成13-15年度科研費 特別研究促進費 (1) 芸術文化政策立案のための統計指標の開発と体系化に関する研究成果報告書pp11-32	2004
注目されるアジアの現代舞踊	文化経済学会誌 4:1-8	2007